

広報 ぬまた

12月号

2013.11.28 No.574



生きる力を育む

10月19日（土）小学校学習発表会の様子

今月の主な内容

- ★町民芸術祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ★明日萌の里フォトコンテスト結果・・・・ 4
- ★叙勲受章、北海道社会貢献賞受賞報告・・ 6
- ★まちのニュース・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ★ふれあい I N F O・・・・・・・・・・・・・・ 13
- ★特集：虐待^{ぎゃくたい}って？・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ★沼田消防から（消報）・・・・・・・・・・・・ 16
- ★沼田警察署から・・・・・・・・・・・・・・ 17
- ★生涯学習ゆめっくる・・・・・・・・・・・・ 18
- ★図書館から・・・・・・・・・・・・・・ 19

町の公式ホームページにおいて、まちのニュースが随時更新されており、いち早くご覧になれます！

また、フェイスブックの公式ページも公開されていますので、町ホームページにある右記のボタンをクリックしてご覧ください。



芸

術

祭

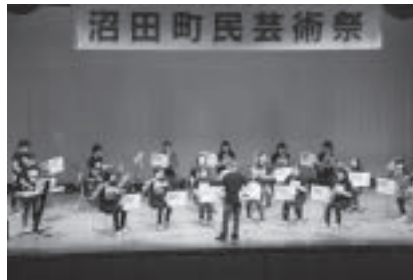
例年恒例の町民芸術祭が10月12日（土）から11月3日（日・祝）にかけてゆめつくと町民会館で行われました。

作品展示会は、ゆめつくる会場で10月12日（土）から俳句、写真、短歌、華道、七宝焼、絵手紙、習字等が出展されていました。町民会館会場では10月26日（土）から幼稚園、小学校、中学校、和風園、旭寿園、なごみ、フラワーアレンジメント、陶芸等の作品と共に、一般町民の作品も展示されていました。

芸能発表会は11月3日に開催され、17団体が出演し、観客席では真剣な眼差しでステージを見つめる多くの町民が来場していました。作品出展者は、自分の作品を客観的に眺め、芸能出演者は、緊張感と期待感を仲間と分かち合いながら、それぞれの有意義な時間を過ごしていました。



八重樫音楽教室



沼田吹ガールズ



大正琴琴友会



沼田大正琴サークル



民謡保存会



沼田夜高太鼓



幼稚園絵画



小学校絵画



和敬会

2013

町

民

述べ約 480 名が日頃の活動成果を発揮



沼小スクールバンド



沼中吹奏楽



牡丹花（二胡）



おわら踊り同好会



沼田詩吟道場



和翔会



ドリーミー♡ぐらんま



沼田箏秀会



飯田音楽教室



ドレミサークル



菅原音楽教室

フ オ ト コ ン テ ス ト

明日萌の里フォトコンテスト表彰式が11月3日(日・祝)に町民会館で行われました。

明日萌の里フォトコンテストは沼田町と沼田町観光協会の共催で、平成11年度から始まり、今年度で15回目を迎え、今年の応募総数は212点の中から18点の入賞作品が審査され、その内、最優秀賞、優秀賞、入選の入賞者が表彰を受けました。



入選「夏&冬」西村公孝(苫小牧市)



入選「激突、後方の仕事人」沼田信廣(美唄市)



入選「舞い太鼓」佐藤 圭(留萌市)



入選「幼春花」野 佳昭(沼田町)



入選「月夜のホロピリ湖」丹羽明仁(愛知県小牧市)

審査員講評(一部抜粋)

第15回目を迎えた「明日萌の里フォトコンテスト」ですが、今年は昨年に比べてやや応募総数が減る結果となりましたが、撮影者の被写体に対する熱い思いのこもった作品が多かったように思います。

応募作品全体を見ますと、夜高あんどん祭りの作品が1番多く出品され、その他四季の自然景観、景勝地、イベント、野生動物や人物スナップなど、多様な作品が集まりました。

最優秀賞に選ばれた佐藤圭氏の作品「黄金に染まる水田」は、俯瞰して見下ろした水田が「田」の文字にも見える、何気ないようでありながら構成力に長けた完成度の高い斬新な構図が新鮮でした。左側から移動して来る白いトラックや、黄金の中に点在する緑色も良いアクセントとなっています。米どころ沼田を表現しアピールする、ユニークな視点が素晴らしい作品です。

優秀賞の2作品も高い評価を得ました。梅澤勇二氏の作品「ようこそ、ぬまたへ!」は列車の赤い線と、2人の子供の赤いTシャツの色がリンクしてはっと目を奪われます。駅名も入れた構図やタイトルなどストレートな表現も作品をよりよくしています。

平野眞佐男氏の作品は、鮮やかなあんどんの光る赤やオレンジ色とシルエットの黒のシンプルな色使い、影絵のような人物の動きや配置に高いセンスを感じます。縦構図で下から見上げる様にしたのも遠近が強調されより良い効果を生み出しました。

札幌在住の私から見ますと、沼田と言えば「米どころ」「夜高あんどん」「ほたる」「明日萌の里」「ホロピリ湖」のイメージが浮かびます。今回200点以上の作品を見ましたが、そのイメージを裏切らない沼田の様々な素晴らしさを表現した優れた作品を多数見る事が出来、嬉しい限りです。特に、最優秀賞の水田の作品には、はっとさせられるものがありました。

デジタルカメラの技術革新により、オートプログラム撮影、高感度撮影など、より手軽に様々な撮影をすることが出来るようになりました。では、優れた作品とはいったい何なのでしょう?それは既存の作品のイメージに捕われない自由な発想、独自の視点、つまりオリジナリティーなのだと思います。オリジナリティーあふれる素晴らしい作品の応募を、これからも楽しみにしています。

開催を重ね充実した実績を残し続ける本コンテストですが、今後も写真を通じた人や文化の交流や観光振興に繋がる取り組みとして、ますます発展することを期待します。

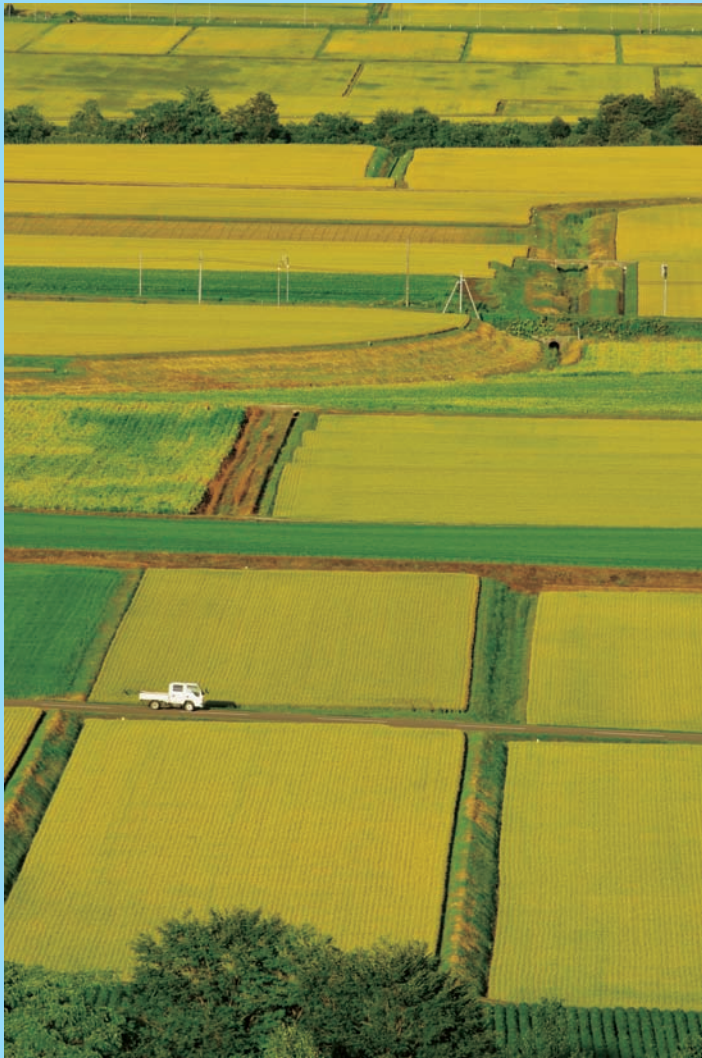
最後に、主催者と関係者の皆さまのご努力に敬意を表するとともに、受賞者の皆さまに心よりお祝い申し上げます。

2013年11月3日

「明日萌の里フォトコンテスト」審査委員代表

(公社)日本写真家協会会員 久保田 亜矢

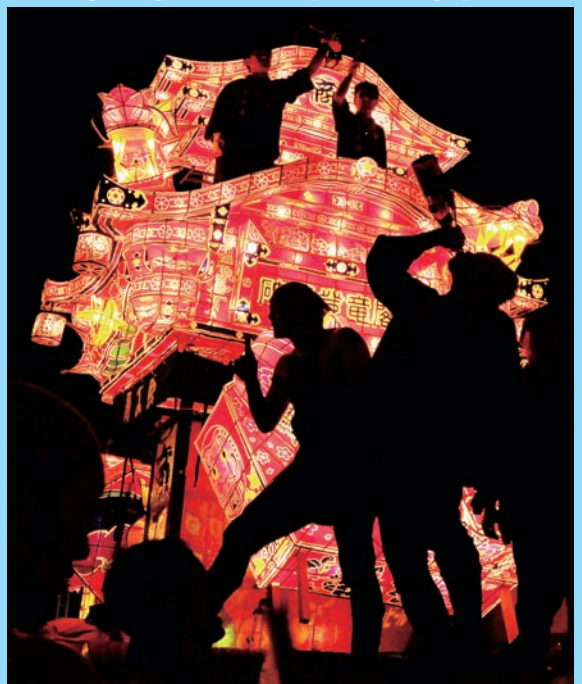
明日萌の里



最優秀賞「黄金に染まる水田」
佐藤 圭（留萌市）



優秀賞「ようこそ、ぬまたへ!!」
梅澤勇二（旭川市）



優秀賞「男の祭りだ!!」
平野眞佐男（札幌市）

第15回明日萌の里フォトコンテスト 入賞作品 展示日程

■平成25年11月15日～平成26年10月中旬
ほろしん温泉ほたる館

■平成25年11月上旬から
沼田町公式ホームページ掲載
<http://www.town.numata.hokkaido.jp>

※展示場所や日程が変更になる場合がありますのでご了承ください。

平成25年 秋の叙勲

旭日双光章

堀田輝幸さん

堀田さんは、温厚な人柄と進歩的な時代感覚を持ち、地域住民からの絶大な信頼を得て、平成3年に沼田町土地改良区理事、平成11年同理事長に就任し、現在まで土地改良事業の円滑な推進に尽力し、地域農業の発展に寄与した功績が認められました。

瑞宝双光章

渡部 稔さん

渡部さんは、昭和33年に消防団へ入団し地域住民の生命、財産を守る為、身の危険をも顧みない勇敢な任務の遂行や誠実な人柄で団員からの信望も厚く、平成10年には沼田消防団長に就任し、豊富な知識と経験をもって、消防施設の強化や団員の資質向上に努めた功績が認められました。

平成25年秋の叙勲がこのほど発表され、本町では、沼田町土地改良区理事長の堀田輝幸さんが旭日双光章を、元深川地区消防組合沼田消防団長の渡部稔さんが瑞宝双光章を受章しました。堀田さんと渡部さんは、それぞれ、金平町長に受章の報告をしました。

赤津秀夫さんが北海道社会貢献賞を受賞

赤津秀夫さん（旭町東）が10月30日（水）にKKRホテル札幌で北海道社会貢献賞（統計功労）を受賞しました。

赤津さんは、昭和57年から統計調査に従事し、他の統計調査員の模範となる等、従事年数30年の功績が認められ今回の受賞となりました。さらに受賞者最多の従事回数94回である等から表彰式では、受賞者を代表して「お礼の言葉」を述べる大役を担いました。

会場では、高井副知事から表彰状贈呈と主催者祝辞のあと、赤津氏が、大変光栄な受賞で、統計調査の重要性を再認識し、より一層の努力を重ねる決意を述べていました。



まちのニュース

Numatatown News

愛される少年団

「ヤングイーグルス」がボランティア活動



10月12日（土）に野球少年団「ヤングイーグルス」の団員とその保護者が、和風園の清掃を行いました。

清掃は、地域で活動している団体として、社会に貢献できる活動を行おうと、今年から実施しました。

ユニホーム姿の団員は、雑巾を持ち、入所者に大きな声で挨拶をしながら、和風園職員の指示のもと、廊下やテーブルの拭き掃除を行っていました。

指導者は「地域の方々から愛される少年団を目指しています」と話してくれました。

いじめを通じて人権とは何かを伝える

人権擁護委員が啓蒙活動



人権擁護委員が、10月15日（火）に、「人権」について学んでもらおうと、沼田小学5年生の授業を訪れました。

児童は、人権擁護委員と一緒に「いじめと戦おう！」をテーマしたDVDを鑑賞し、自分がいじめられている友だちの為に、何が出来るのかを考えていました。

人権擁護委員は、児童に「いじめは単純なふざけ合いから発展する」、「いじめを見て見ぬふりをする行為は、いじめている事と同じ」と伝え、「いじめられている友だちの長所を引き立て、その子の良さをみんなに理解させる味方になってほしい」とお願いしました。また、「人権とは人間が人間らしく生きる権利で、すべての人が生まれながらに持つ権利」、「いじめは大切な人権を傷つける事、残酷で取り返しのつかない人権侵害」と教えていました。

最後に、「もし辛い事があったら、一人で悩まずに、先生や家族

や人権擁護委員に相談して下さい」と話していました。

味付けに配慮

独り暮らし高齢者食事会



沼田町食生活改善協議会が、単身世帯の高齢者に栄養バランスのとれた食事を楽しんでもらおうと企画した、平成25年度「独り暮らし高齢者食事会」が、10月16日（水）にふれあいで行われました。

32名の参加者は、食生活改善協議会スタッフが調理した「秋鮭の甘酢和え（沼田産トマトケチャップ使用）」等5つのメニューを食べ、大正琴同好会の演奏を楽しみながら、参加者同士の交流をしていました。

参加者は、「トマトケチャップの使い方が勉強になりました」と話してくれました。

花園出場校（遠軽高校ラグビー部）が来町



10月17日（木）に、遠軽高校ラグビー部が町民体育館で練習を行いました。

遠軽高校ラグビー部は、3年連続で北北海道代表として全国大会「花園」に出場している強豪で、今年12月末に東大阪市で行われる全国大会の出場も決めています。今回は、芦別市で行われる全道新人大会の調整練習を行う為、町民体育館に来館しました。

部員27名は、ランニングパスを何度も繰り返して汗をかいていました。監督からパスミスの原因について指摘され、修正方法の指導を受け、部員同士で何度も声を掛け合いながら改善をしていました。その後、セットプレーの確認をし、試合前の緊張感を高めていました。

山内監督は、「このままでは来年の5連覇は難しい。」と危機感を抱きながら、子ども達の成長を期待していました。

手遅れになる前に

ふれあい総合健診が実施されました

ふれあい総合健診が、10月17日（木）～18日（金）の2日間にわたり、健康福祉総合センター（ふれあい）で行われました。「ふれあい総合健診」として、国保特定健診と胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診が7月と10月に実施され、対象者は自分の予定に併せて受診時期を選ぶことが出来ました。

当日は、午前6時30分から健診が開始され、身体測定、血圧測定、肝機能検査、腎機能検査、心電図・眼底検査等が行われました。国保特定健診の健診料金は昨年度から無料で、30歳～74歳の沼田町国民健康保険加入者が対象でした。胃がん検診は35歳以上の町民、大腸がん検診と肺がん検診が40歳以上の町民が対象でした。

役場保健福祉課は、「各検診における受信者数が昨年比で20～30名増えていることから、住民の健康管理に対する意識の高まりを感じています」と話していました。



ほたる館に料理の鉄人が登場

和の巨匠 道場六三郎 花籠弁当盛りを楽しむ会

和の巨匠として知られる、道場（みちば）六三郎さんが監修した料理を食べる「花籠弁当盛りを楽しむ会」が、道場さん本人も来町し10月19日（土）ほろしん温泉ほたる館で行われました。

道場さんは、過去フジテレビ系列で放送されていた「料理の鉄人」という番組に出演していたことで有名です。

道場さんが、会場にいる約100名の前に登場すると、大きな拍手が沸き起こり、素敵な空間の訪れを皆で感じていました。ユーモアを交えて道場さんから参加者に「六三郎の散らし寿司」など本日のメニュー6品の紹介があり、その後、笑顔で会場を回った道場さんは、テーブルごとに記念撮影をするなど、とても気さくな人柄に和やかな雰囲気の中で、楽しむ会を終了しました。

終了後、道場さんが沼田町の印象を「今日の沼田は、良い天候の中に皆様の笑顔がとても暖かく感じた。また、今日の料理は北海道の産物にこだわりを持って、ぬくもりをテーマに考えた。」と語り、今後のほたる館については「料理は、おいしくてあたりまえ、料理を食べてもらえるお客様におもいやりを持って出してもらいたい」とほたる館への期待を込めて述べていました。



新校舎で初めて実施

沼田小学校学習発表会

沼田小学校学習発表会が10月19日（土）に同校体育館で実施されました。

「学習発表会」は、平成22年度に行事名を学芸会から変更し、今年度からは土曜日開催となりました。今年の児童会テーマは「新校舎初めての学習発表会に心をこめて最後まで輝く笑顔をつややらず楽しもう！」で、全校児童136名が日頃の学習成果を発表する機会として、保護者を始め地域の方々に、子ども達の成長を確認してもらおうと実施されています。

会場では、全学年が音楽を、1・3・5年生がダンス、2・4・6年生が劇の発表をしました。またスクールバンドの演奏も披露され、校内のひかりの原っぱでは、全児童の輝く作品が展示されていました。

保護者はカメラを手にとりながら、我が子の成長した姿を撮影していました。



日頃の成果を発揮

いきいき大学祭

10月21日（月）に、町民会館で、いきいき大学祭が行われました。

いきいき大学祭は、高齢者同士の交流を図り、いきいき大学で学んだ知識や趣味等を発表する生涯学習の場として実施されています。

会場では、カラオケや二胡サークル、大正琴や民謡等の芸能発表や趣味創作活動で完成された作品が展示されていました。

参加者は、それぞれの立場で出演や出展、談笑を楽しみながら交流していました。



楽しく交流

化石体験館とパークゴルフ場でのうこん農婚塾



豊かな自然の中で、独身女性に楽しく農作業を体験してもらい、農業青年との交流を深めてもらおうと、JA北いぶきが企画した農婚塾が、10月20日（日）に行われました。

JA北いぶきでは、婚活を真剣に考えている独身農業者を応援するため、昨年度から「JAマリッジ応援事業」に取り組み、10月20日（日）と11月17日（日）の2日間において、25歳から40歳の独身女性を対象に、日帰りバスツアー『第1回 農婚塾 in 北いぶき』が開催される事となりました。

札幌市から来町した10名程の参加者は、妹背牛町で野菜収穫体験をした後、化石体験館に移動しました。

化石体験館では、学芸員の篠原館長の指導によりアンモナイトのレプリカを作成し、石こうが固まるまでの時間を利用してミニ発掘体験をして交流を深め、パークゴルフ場でも、各組に分かれて体を動かしながらプレーを楽しんでいました。

第38回に向けて

夜高あんどん祭り反省会



夜高あんどん祭り実行委員会による「夜高あんどん祭り反省会」が10月22日（火）に観光プラザで行われました。

反省会は、来年度の祭りに向けて例年開催され、警察、各あんどん連や太鼓、踊り等の各団体からの意見要望等を取りまとめています。

吉住実行委員長は、観光客も参加できる祭りへの取り組みを考えながら、安全でケガのない祭りを続けていきたいと述べていました。

陸上自衛隊沼田分屯地・沼田弾薬支処創立23周年記念祝賀会



陸上自衛隊沼田分屯地・沼田弾薬支処創立23周年記念祝賀会が10月25日（金）ほろしん温泉ほたる館で行われました。

沼田町自衛隊協力会と陸上自衛隊沼田分屯地の共催で開催され、沼田町自衛隊協力隊長である金平町長と陸上自衛隊沼田分屯地の岡本司令による挨拶、杉本議長による祝杯のあと、49名の出席者は祝電披露やスライドショー等の祝宴で交流をして賑わいました。

定着したイベント

「ハロウィン」が開催



町おこしグループ「ゆきものがかり」が10月25日（金）に駅前のとむとむ広場でカボチャをくりぬいた手作りのランタンを飾るイベントを開催しました。

「ハロウィン」は、10月31日に行われる欧米の伝統行事で、秋の収穫を祝い、悪霊を追い出す祭りです。日本でも、英会話教室・幼稚園・学校・地域などでパーティやイベントとして開催され、定着してきています。

カボチャは、メンバーや町内の農家が規格外の観賞用カボチャを提供し、学校や商店にも配り、ランタンを作成してもらいました。

会場では、雨天の中、仮装した子ども達が訪れ、自分の作ったランタンを眺めながら、歓声をあげていました。

まちなか賑わい夕市事業「夕市」

まちなか賑わい夕市事業として、夕市が、10月25日（金）に旧沼田食品で開催されました。

まちなか賑わい事業は、商店街への集客をより一層向上させ、売上増加と商業者同士の連携強化を図り、買い物客への支援を目的として実施されています。

雨天の為に会場を旧沼田食品に変更し、商工会女性部による出店と農業生産者による野菜の直販売がされていました。

来場者は、新鮮な野菜等の買い物を楽しみながら、来場者同士の交流を図っていました。



「食」による地域コミュニティの発展へ

食文化次世代伝承事業

食文化次世代伝承事業として沼田町食生活改善協議会との共催で「昔ながらの行事食やお袋の味に関する料理講習会コース2」が10月26日（土）に健康福祉総合センター（ふれあい）で行われました。

食文化次世代伝承事業は、昔ながらの健康的な日本食文化が伝承される機会が失われつつある現状から、「沼田町食育推進基本計画」において、地場食材の使用拡大とお袋の味をはじめとする食文化の普及を掲げており、薄れゆく昔ながらの食文化等を後世へ伝える必要があることから実施しております。

参加者は、今回のテーマ「☆和食の定番レシピを大胆リメイク☆2度美味しい和食レシピが大集合！」のもと、実習メニューである「①赤飯、②おから（卵の花）、③ひじきの煮物、④汁物」のレシピについて、食生活改善協議会会員から説明をうけ、参加者同士で協力をしながら調理講習をしていました。調理終了後、沼田産トマトケチャップも使いながら素材の味を前面に出した料理を試食しながら「日頃の食生活」について、懇談していました。



勝負は最後まで諦めない

第28回沼田町教育長杯争奪少年野球大会

第28回沼田町教育長杯争奪少年野球大会が10月14日（月・祝）26日（土）27日（日）に町民球場で行われました。

雨天順延の為に日程変更となった大会は、保護者や軟式野球連盟の尽力もあり、グラウンドの状態も良く、予定通り北空知管内の8チームが参加し、熱戦が展開されました。

沼田ヤングイーグルスの初戦は、北竜メッツを相手に、投手戦を展開し、0対1で敗戦濃厚な最終回2アウトランナーなしから、2連続2塁打で同点に追いつき、試合は1対1の引き分けとなり、同じポジション同士によるジャンケンで5回勝ったチームが次戦に進出する特別ルールで、見事に「勝利」しました。

子ども達は、2回戦に進出した喜びを爆発させ、保護者も地元大会での初戦突破に安堵の様子でした。勢いに乗る準決勝は、妹背牛エンジェルスを相手に、自分達の持てる力を発揮しましたが、惜しくも完封され、守備の乱れもあり、0対8で敗れましたが見事3位となりました。

6年生は後輩に「勝った喜び」と「敗れた悔しさ」を伝え、最後の試合を終えました。

決勝戦は、悪天候の為に2回ノーゲームになり、協議の結果、妹背牛エンジェルと雨竜ドラゴンズの両チーム優勝となりました。



開拓 120 年記念事業町民検討委員会

10月29日（火）にふれあい沼田町開拓120年記念事業町民検討委員会（以下町民検討委員会）が開催されました。

町民検討委員会は、町民5名で構成され、町民から提案されたアイデアに基づいて事業内容を協議し、町長に提言する目的で設置されています。

会議では、アイデア募集状況の報告と事業計画案が審議され、夢と希望を与えるような事業を展開してほしいと意見が出されました。



農協青年部が小学校で食育活動



北いぶき農業協同組合沼田支所青年部（以下農協青年部）が女性部の協力で、10月31日（木）に沼田小学校体育館でイベント炊飯と餅つきを行いました。

農協青年部は、子ども達に地元の新米を食べてもらい、農業への理解を深めてもらおうと、昨年度から食育活動に取り組んでいます。

イベント炊飯は、あらかじめ女性部員が炊いた沼田産の新米を、給食として暖かい状態で食べる事により、ご飯が持つ本来の美味しさを伝える目的で実施しました。子ども達は青年部員と交流しながら、自分が食べられる量をラッピングして自分の

名前を書いていました。

また、餅つきは、日頃、ほとんど使用した事のない臼と杵を使い、楽しんでもらう為に行いました。

渡辺青年部長は、「沼田は米が基幹作物なので、沼田産米の普及を目的に実施しています。子ども達に農業の魅力が少しでも伝わればうれしいです」と話していました。

ほたる館で

カラオケチャンピオン大会



ほろしん温泉ほたる館で「ほたる館カラオケフェスタチャンピオン大会」が11月2日（土）に開催されました。

大会は、シダックスグループが主催し、出場者は沼田大会上位3名とシダックスカラオケフェスタから3名の合計6名で各1曲を歌い、審査員の採点により順位が決定する方式でした。

会場には、約100名が入場し、各テーブルに分かれ、弁当やドリンクを楽しみながら「出場歌手」へ声援を送っていました。

優勝は、神林留美子さん（留萌市）、準優勝は関翔太郎さん（札幌市）、3位は沼田町の林恵美子さんでした。

また、ゲストには演歌歌手の沖田真早美さんと「第15回日本カラオケスタジオ大賞全国大会」でチャンピオンに輝いた3人組ユニット「With」を迎え、大会に花を添えてくれました。

更生に取り組む様子を伝える

月形学園矯正展



月形学園矯正展が、11月3日（日・祝）に町民会館で、町民芸術祭と同時開催されました。

月形学園は、昭和48年に「月形少年院」として月形町で設置され、平成4年に「月形学園」に名称変更された、初等少年院と中等少年院が併設された日本最北の少年院です。入院期間は比較的短期となっており、短期生活訓練課程、短期教科教育課程の2課程があります。

少年院は、非行少年の更生を目的に、家庭裁判所から保護処分を言い渡され、少年院送致となった場合に収容される施設です。

刑事施設（刑務所等）では、刑法に定める「所定の作業」として、

懲役受刑者に改善更生を目的とした刑務作業を実施しています。

矯正展は、刑務作業の現状と重要性について住民に広く知っていただくため、受刑者が社会復帰を目指して刑務作業に取り組む姿や刑事施設で行われている刑務作業について広報を行うほか、実際に受刑者が製作した刑務所作業製品の展示・即売を行う目的で開催されています。

会場では、革靴や石鹸などの商品が販売され、施設での活動を紹介するパネルの展示や性格テストも実施されていました。



学力アップへ

望ましい読書習慣定着推進事業

11月6日（水）に、望ましい読書習慣定着推進事業が、沼田中学校で行われました。

望ましい読書習慣定着推進事業は、北海道教育委員会が、子どもの「確かな学力」を育むため、「朝読・家読」運動を全道展開し、子どもの読書習慣定着に向けた機運を高める目的で平成23年度から実施しています。

沼田町教育委員会は、「学力向上」を目指し、中学生に読書の大切さを理解してもらおうと、北海道教育委員会で設置した「読書プロジェクトチーム」のメンバーである空知管内読み聞かせボランティアネットワーク「おはなしそらぷちぺっ25」代表の高田芳さんを講師に招きました。

講師の高田さんは、生徒達に、朝読書の利点や、読書の魅力を「朝の読書をする事は、今日これから始まる学習の為、リラックスした心の状態で言葉力を高める準備運動の効果があり、想像力が身に付く」と伝えていました。



更なる安心安全なまちづくりに向けて

「沼田町交通安全町民大会」

交通安全町民大会が、11月6日（水）に、町民会館で行われました。

交通安全町民大会は、交通事故を防止し、安心で安全なまちづくりを目指す機運を高める為、沼田町と沼田町交通安全推進委員会と沼田町交通安全協会が主催しています。

今年は、本町出身者も在籍する北海道警察音楽隊とカラーガード隊のドリル演奏で花を添え、「交通事故犠牲者に対する黙とう」、や「高齢者川柳入賞者表彰」等が行われました。

また「サイクルセーフティーキャンペーン表彰」では、沼田中学校が、実施期間の6月1日から10月31日まで生徒全員の無事故無違反が認められ、表彰を受けました。

講演会では、木村沼田警察署長が「交通安全は、町民一人ひとりが同じ意識で取り組まなければならない。その取り組みが安心で安全なまちづくりへと繋がります」とお話しされていました。

最後に、多田商工会青年部長が「大会宣言」で町民総ぐるみで交通事故撲滅に邁進する事を誓い大会を終了しました。



図書館に足を運ぼう

ミニ工作教室「スーパーボールをつくろう！！」

11月7日（木）に、ミニ工作教室「スーパーボールをつくろう！！」がゆめつくろで行われました。

ミニ工作教室「スーパーボールをつくろう！！」は、沼田町図書館が、図書館に足を運んでもらおうと、秋の読書週間の一環として企画しました。

参加した約60名の子ども達は、順番に図書館司書の指導を受けながら、市販のゴムを「おゆまる」につけて温め、自分の好きな形のスーパーボールを造って楽しんでいました。



妊娠中の生活について



お腹の中の赤ちゃんが元気に育つために大切なのは『胎盤』です！
今回はそんな『胎盤』の役割についてご紹介します♪

食事が食べられない、呼吸
ができないことを、想像し
てみてください…。



たばこやお酒で胎盤が傷つくと、赤ちゃんに栄養や酸素が届かなくなります。
また偏った食事では、赤ちゃんは丈夫な体が作れず、元気も出ません。

平成 25 年 10 月
マタニティクラブ

このような状態が続くと、お腹の中の赤ちゃんは苦しさに耐えられず「流産」「早産」などといった形で、お腹の外に出てこようとしてますが、未発達のため「命の危険」があります！



赤ちゃんが健やかに育っていけるよう、食事バランスや運動など、生活習慣を振り返ってみましょう！

【保健福祉課健康グループ 担当：吉田】

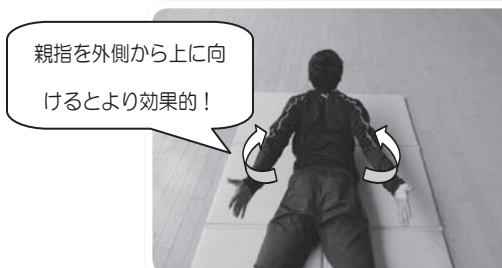
今月は、腰痛の予防・解消に効果的な

★背筋トレーニング★

を紹介します。

《うつ伏せ⇄上げて3秒キープ》を1回とし、
10回程度を目標に取り組んでみましょう。

背筋は腰痛の予防・解消だけではなく、姿勢改善にも効果的です。
また、姿勢改善をすることで、身体全体のバランスが良くなり、
さまざまな不調を解消させる効果も期待できます。
呼吸をしながらゆっくり行いましょう。



【保健福祉課健康グループ 担当：松野】

特集：虐待って？

高齢者・児童・障がい者への虐待

虐待は、自覚も無しに行ってしまうこともあります。

虐待を行っている養護者（家族など）、養介護施設や福祉施設従事者等、使用者（障がい者の雇用主等）は、虐待に関する知識や気持ちの余裕がなかったり、感覚が麻痺してしまったりして、自分が虐待を行っているという自覚が無い場合があります。

虐待の防止は、早期の発見と相談が重要です。

虐待は、周囲には見えにくいものです。また、他者が口を出しにくいということもあります。しかし、虐待を止めることは、虐待を受けている高齢者・児童・障がい者はもちろん、虐待を行っている養護者などにとっても、絶対に必要なことです。特に、虐待を受けている本人の生命や身体に重大な危険がある場合には、気づいた人には通報する義務があります。（通報の秘密は守られます。）

虐待かも？と思ったら、まず連絡を！

虐待を発見したり、虐待を受けた場合には、虐待の種類に応じてそれぞれの担当する機関に通報や相談等を行ってください。



介護や子育て、障がい者支援に熱心であればあるほど虐待の生じる可能性があります。困ったことがあればお気軽にご相談ください。

○高齢者虐待に関する通報先・相談先		
通報先	地域包括支援センター（役場保健福祉課）	電話 35-2120
相談先	地域包括支援センター（役場保健福祉課）	電話 35-2120
	北海道高齢者総合相談・虐待防止センター	電話 011-251-2525
	常設人権相談所（全国共通ナビダイヤル）	電話 0570-003-110
	担当の介護支援専門員・医師・保健師・弁護士 など	
○児童虐待に関する通報先・相談先		
	役場保健福祉課	電話 35-2120
	児童相談所（全国共通ダイヤル）	電話 0570-064-000
	全国子育て・虐待防止ホットライン	電話 0570-011-077
○障がい者虐待に関する通報先・相談先		
	役場保健福祉課	電話 35-2120
	北海道障がい者権利擁護センター	電話 011-231-8617

※この記事に関するお問合せ先 役場保健福祉課（福祉グループ） 電話 35-2120

こんなことが虐待にあたります！！

(養護者（家族など）、養介護施設や福祉施設従事者等、使用者（障がい者の雇用主等）が行う行為）

身体的虐待

殴る、つねる、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、ベッドに縛り付ける、やけど・打撲を負わせる、おぼれさせる、意図的に薬を過剰に服用させ身体拘束・抑制をする、無理矢理食事を口に入れる など



心理的虐待

怒鳴る、ののしる、悪口を言う、言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子供の目の前で家族に対して暴力をふるう（ドメスティック・バイオレンス：DV） など



ほうきほうにん 放棄・放任 (ネグレクト)

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、劣悪な環境で生活させる、長時間の脱水や栄養失調状態 など

ぎゃくたい 虐待

高齢者への虐待
児童への虐待
障がい者への虐待

性的虐待

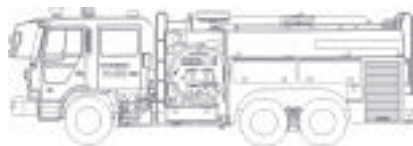
子どもへの性的行為・性的行為を見せる・ポルノグラフィの被写体にする、排泄の失敗に対する罰として下半身を裸にして放置する、わいせつな行為をしたり強要する など



経済的虐待

生活費を渡さない・使わせない、自宅等を本人に無断で売る、年金や貯金を本人の意志や利益に反して使用する など





消 報

深山地区消防組合

深山消防署

沼田支署予防担当

TEL 35-2050

救急について学ぼう！
あなたは救急についてどこまで知っていますか？
クイズに挑戦して救急について学びましょう。！



1. あなたの目の前で急に胸を押さえて倒れた人がいます、あなたならどうする？
 ①そのまま動かさない ②ほったたをつねる ③「大丈夫ですか？」と声をかける

2. 声をかけても反応がありません。あなたならどうする？
 ①神様に祈る ②周囲の人に助けを求める ③くすぐる

3. 周囲の人が来ました。あなたならどうする。(答えは2つ)
 ①119番通報してもらう ②AEDを持ってきてもらう ③一緒に神様に祈る

4. 次にあなたならどうする？
 ①呼吸の確認 ②名前の確認 ③年齢の確認

5. 呼吸はしていません。あなたならどうする。
 ①体をさする ②深呼吸する ③人工呼吸する

6. 次にあなたならどうする。
 ①これ以上やることはない ②心臓マッサージをする ③お腹の真ん中を押す

7. AEDを持ってきてくれました。あなたならどうする？
 ①すぐに使う ②使わない ③後で使う

8. 電気ショックが必要です。あなたならどうする？
 ①すぐに押す ②怖いので押さない ③安全を確認してから押す

9. 救急車がくるまで、あなたならどうする？
 ①人工呼吸2回と心臓マッサージ30回を繰り返す ②休憩する ③みんなで神様に祈る

10. 最後にあなたは、救命講習会に参加しようと思いますか？
 ①めんどくさいので参加しない ②家族のために参加したい ③わからない



沼田消防では、AEDの講習を含む救命講習会を行っています。

意識と呼吸がない人には、早期に心肺蘇生法（人工呼吸と胸骨圧迫など）とAEDを用いた電気ショックを行うことが救命率アップにつながります。

いざという時、あわてず安全・確実に心肺蘇生法やAEDができるよう、講習を受けてあなたの身近な人を救いましょう。

⑦・①・③・①・⑦・③・①・⑦①・⑦・③ ㄹ

大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

『警報器 あなたの危険 知らせます』



沼田警察署あんぜん広場 NumataPolice

TEL 35- 3110



飲酒運転をなくしましょう～許しません 飲酒運転 許す人

飲酒して運転すると、気が大きくなりスピードを出し過ぎたり、注意力が低下するため信号や歩行者などを見落とし易くなり、罪のない第三者を巻き込む重大事故を引き起こす危険性が高まります。「ちょっとしか飲んでいないから」、「すぐ近くだから」と安易に飲酒運転すると、一生後悔することになります。絶対に止めましょう。

◇飲酒運転は、本人やその周辺者も処罰の対象！

飲酒運転は、重い処罰に加え、重大事故を起こせば、社会的制裁や多大な賠償を求められます。また、飲酒運転を容認・助長する、車両提供、酒類提供、同乗した周辺者も処罰の対象となります。

◇「自分は大丈夫」という思いこみをしていませんか？

お酒の強い人の中には、「これくらいは大丈夫」「自分は事故を起こさない」等と思っている人がいますが、お酒の強さは関係ありません。

◇職場での「見て見ぬふり」の雰囲気はありませんか？

誤った仲間意識による「見て見ぬふり」は、いずれ大事故につながり、事故当事者のほか、同僚も仕事を失うことになります。悪いことは「悪い」と言える職場の雰囲気が、事故防止には大切なのです。

◇二日酔いも「飲酒運転」です！

前夜の酒が抜けず、「二日酔い」で車を運転し事故を起こす例が後を絶ちません。翌日、車の運転予定がある場合は、

- ・前夜、深酒をしない
- ・朝起きて体にアルコールが残っている自覚があるときは、絶対にハンドルを握らないようにしましょう。

◇「ハンドルキーパー運動」にご協力ください！

自動車仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。ぜひご協力を！

冬道での交通事故をなくしましょう

雪が降り町の様子もすっかり様変わりしました。積雪・凍結路面の停止距離は、夏の乾燥した路面の3倍から10倍以上になることがあるなど、冬道の運転では夏とは違う運転感覚が必要となります。

冬道で車を安全に走行するためには、

- ・十分な車間距離と路面状況に合った速度
 - ・早めのブレーキ、じっくり長いブレーキ
 - ・急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキなど急の付く運転操作をしない
- ことが大切です。天候、路面状況に合わせた運転で、交通事故を防止しましょう。

沼田町の事件・事故の発生状況

犯罪の発生状況

(10月末現在)

	車上ねらい	倉庫荒し	忍び込み	万引き	置引き	タイヤ盗	オートバイ盗	経由・灯油盗	自転車盗	鉄板盗	その他	合計
H25	2	1	1	1	1	0	1	0	0	2	2	11
H24	0	0	0	0	0	5	1	2	1	2	0	11

交通事故の発生状況

町内における交通事故件数 (10月末現在)

人身事故		物損事故	
平成25年	5	平成25年	68
平成24年	7	平成24年	83

町民が町外で第1当事者となった人身事故件数 (10月末現在)

平成25年	1
平成24年	5

物損事故の主な原因のワースト3は、前方不注視、後方不注視、ブレーキ操作の不適です。

「親って大変・・・いつもありがとう。」 合宿通学を実施しました！

生涯 学習

ゆめつくる



5泊6日！自分のことは自分でやる！

10月28日（月）～11月2日（土）まで6日間にわたる合宿通学が行われました。今年は、新しくできた「沼田町宿泊交流センター（夢未来）」で実施しました。施設はとても温かく子ども達も元気に過ごしていました。

合宿通学では、食事づくり、掃除や洗濯など、普段は家庭で親にまかせきりの家事を、自分たちの力で、6日間行います。その中で親のありがたさ、みんなで協力することの大切さ、自分の置かれている立場に対する責任感など様々なことを肌で感じ、今後の生活で活かすことが目的です。はじめは友達同士のお泊り感覚ではしゃいぎまわる様子が多く、この先どう成長していくか心配になる場面もありましたが、日を重ねるごとに子ども達には疲れが見え始め、親の大変さを身に染みて感じていました。家では自分の好きなように行動できても、共同生活の中ではできません。日を追うごとに、きちんと決まりを守りながら、皆と行動出来るようになっていきました。

学生リーダーとの交流

今年も北翔大学から7名の学生ボランティアを募り、合宿通学に参加していただきました。学生たちからは積極的に子どもたちの様子をうかがったり、楽しそうに会話をしたりと、子どもたちと真剣に関わる場面がよく見られました。また、子どもたちも学生との関わりを通し、「頑張ったね」と声をかけられるたびとても嬉しそうでした。

家庭学習も忘れずに…

合宿通学期間中は家庭学習も自ら進んで行っていました。一緒に勉強を教えあったり、学生ボランティアに見てもらったりと、充実しているように見えました。楽しむときは楽しみ、学ぶときは学び、メリハリのある6日間を過ごしていたように思います。



司書のイチオシ!

『絵手紙年賀状』



冬が近づき、年賀状のことを考えている、という方もいるのではないのでしょうか。

絵や写真がすでにプリントされている年賀状も、シールを貼ったり色を塗ったりと、少し手を加えるだけで個性的で素敵な年賀状になりますが、今年はもう少しだけ手をかけて年賀状を作成してみませんか？

今回紹介する本は、絵手紙で年賀状を作ろうという本です。絵手紙というと堅苦しく考えてしまいがちですが、材料さえあれば誰でも手軽にできるのが絵手紙の魅力です。

材料は、年賀はがき・墨・筆。この3つさえあればどんな絵だって描くことができます。色をつけるなら、水彩絵の具やカラーペンなどを様々なものを使用できます。墨を使っているからこの道具を使わなければならないということはありません。

筆がない方は、割りばしやつまようじを使って絵を描くことができます。

今回紹介した本の他にも、描き方の手順や色の塗り方が細かく載っている本や、干支を水墨画で描くといったような本も揃っていますので、年賀状に絵を描いてみようかなと考えている方は、ぜひ参考にしてみてください。絵手紙に関する本は図書館に揃っていますので、図書館に来館された際は、ぜひ手に取ってみてください。



新刊図書

《一般書》

ラブレス	桜木 紫乃
よろず占い処陰陽師へようこそ	天野 頌子
さわらびの譜	葉室 麟
おはなしして子ちゃん	藤野 可織
六花の勇者 1～4巻	山形 石雄
珈琲店タレーランの事件簿 1・2巻	岡崎 琢磨
真夜中のパン屋さん4巻	大沼 紀子
ビブリア古書堂の事件手帖4巻	三上 延
ユニコーン	原田 マハ
さんぱつやきょうこさん	長谷川 義史

《児童書》

学校の怪談	岡崎 弘明
君に届け 7・8巻	白井 かなこ
ONE PIECE 5・6巻	浜崎 達也
バタコさんといないないないバルーン	やなせ たかし
つぎはわたしのぼん	いもと ようこ

新刊図書おすすめ!!

『蛇行する月』 桜木 紫乃



人生の岐路に立つ6人の女の運命を変えたのは一？ 高校卒業後、年上の職人と駆け落ちした順子。極貧の生活を“幸せ”と言う順子に、悩みや孤独を抱えた、かつての図書部の仲間たちは…。

『黒田官兵衛』 双葉社



鳥取城攻略、高松城水攻め、中国大返し…。奇想天外な作戦を計画する軍師にして、天才だった黒田官兵衛の、野心的で人間臭い生涯と、その代表的な合戦を写真やCGなどのビジュアルで紹介します。

『ぼくの兄ちゃん』 よしなが こうたく



こうたの兄ちゃんはいつでもいばってるけど、とてもこわがり。天井の模様がおばけに見えると騒ぎ出す。我慢できなくなったこうたが「おばけさん、こんな兄ちゃんなんかつれていってください」というと…。

寺島実郎氏の講演も
東京沼田会総会

11月9日（土）に東京都で第25回東京沼田会総会・懇親会が行われました。

今年は設立25周年記念事業として、講師に本町出身でおなじみの寺島実郎氏（日本総合研究所理事長）を招いて、演題「国内外の情勢と沼田町の思い出雑感」をテーマに講演会を実施しました。

会員は、お互いの近況報告をしながら、再会を楽しんでいました。



成長した姿を

第36回幼稚園発表会

11月10日（日）に、第36回沼田幼稚園発表会が町民会館で行われました。

幼稚園発表会は、園児の成長した姿を保護者や家族に見てもらおうと実施されています。19名の園児は、本番に向けて練習した歌や遊戯や劇、縄跳びを一生懸命に披露していました。

観客席では、楽しそうに園児の姿を見つめる保護者の姿がありました。



今月号の赤ちゃんです。すくすく育ってね！

10月18日生まれ
内藤 咲月ちゃん（長女）

お父さん 竜太
お母さん 英里

（旭町西）



10月1日生まれ
伊藤 千咲ちゃん（長女）

お父さん 勲
お母さん 千晴

（市内2）



おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
上田 政雄さん	10月13日	77歳	旭町東
矢野トミ子さん	10月18日	97歳	仲町西
山崎 満さん	10月18日	82歳	南町
岩崎 仙作さん	10月27日	81歳	旭町東
田村 律子さん	11月3日	82歳	市内4

人の動き

人口 **3,444人**（前月比 -15人）
（男性 1,629人 女性 1,815人）
65歳以上 1,312人（高齢化率38.1%）
世帯数 1,596戸（前月比 -4戸）

○総人口増減内訳

増加…転入：1人 出生：3人
減少…転出：13人 死亡：6人

（平成25年10月31日現在）

交通事故死ゼロ

481日
継続中！

（平成25年11月1日現在）